

# よくある ご相談と その対応

## 【事例⑧】 忘れ物が多い。

### NG対応

#### 1、「また忘れたの！」とダメ押しする。

- ・注意力が散漫で集中力を維持することが難しい子どもは、「もう忘れ物はしない！」と心に決めても具体的な対応策を見つけない限り、また忘れてしまいます。
- ・何度も叱られると、「また怒られた。」ということだけがインプットされてしまい、自信を失うことにもなります。

#### 2、忘れ物グラフで自覚を促す。

- ・子どもによっては、かえって逆効果になってしまいます。本人が気をつけても忘れ物を無くせないのですから、グラフは目に見える失敗の記録を残すことになり、更に自信を失わせてしまうことにもなります。

### GOOD対応

#### 1、原因に即した対処法を取る。

- ・忘れてはいけない物の入れ場所を決めます。  
【例】・専用ファイルを作って、大切なプリントはそこに入れる。
- ・全体指示だけではなく、個別に忘れ物はないかの声掛けをします。
- ・持ち帰る物を減らします。子どもによっては金曜日に教科書・ノートを全部持ち帰り、月曜日に持ってくる等の方法も考えます。

#### 2、軽微な物は、クラスに複数用意しておく。

- ・鉛筆や消しゴムなど軽微な物は常にクラスに幾つか置いておき、忘れた時に貸してあげます。こだわりで、忘れたことによりイライラしたりパニックになったり、他の子に借りようとしてトラブルを起こしたりするよりは、授業にスムーズに参加することができます。

#### 3、家庭で、教科書とノートをセットにしておいてもらう。

- ・忘れ物が多い子は、時間割を揃えるのも苦手なことが多いです。家庭で、教科名ラベルを貼った仕切りの入ったボックスを用意してもらい、教科毎に教科書とノートを一緒に入れて整理しやすくします。